

長野保健医療大学

教員紹介



氏名	井部 俊子
	IBE TOSHIKO
職位	副学長 看護学部長
	学歴
	1969 年 聖路加看護大学衛生看護学部 卒業
	1982 年 聖路加看護大学大学院看護学研究科修士課程 修了
	2001 年 聖路加看護大学大学院看護学研究科博士課程 修了
	職歴
	1969 年 聖路加国際病院
	1987 年 日本赤十字看護大学 講師
	1993 年 聖路加国際病院 看護部長・副院長
	2003 年 聖路加看護大学 教授
	2004 年 聖路加看護大学 学長 *2014 年 4 月聖路加国際大学に改称
学歴・学位・職歴	2014 年 株式会社日本看護協会出版会 代表取締役社長
	2016 年 聖路加国際大学 特任教授
	2017 年 聖路加国際大学 名誉教授
	2017 年 株式会社井部看護管理研究所 代表取締役社長
	2017 年 東京医科大学看護学部 学事顧問（2019 年 3 月まで）
	2017 年 長野保健医療大学看護学部設置準備室 顧問
	2017 年 新潟県福祉保健部 参与
	2017 年 国際医療福祉大学 看護教育統括責任者（2018 年 3 月まで）
	2019 年 長野保健医療大学 副学長 看護学部長
	学位
	博士（看護学）

担当科目	看護学概論（1 年次） ヒューマンケア論（1 年次） 看護教育論（4 年次） 看護提供システム（3～4 年次） 看護課題探求（4 年次）
研究分野	看護管理学
業績	（学会、論文、執筆、表彰、研究活動、社会活動など） 〈所属学会〉 日本看護管理学会、日本看護科学学会、日本赤十字看護学会、日本がん看護学会、日本循環器看護学会、日本災害看護学会、日本専門看護師協議会、医療の質・安全学会、日本医療・病院管理学会、日本医療福祉建築協会、日本臨床薬理学会、日本医療バランスト・スコアカード研究学会 〈主な執筆〉 患者の「賢い選択」を支える看護（2019）日本看護協会出版会 看護管理学習テキスト第 3 版全 5 巻＋別巻（2019）日本看護協会出版会 看護師のための文章ノート（2018）日本看護協会出版会 看護のアジェンダ（2016）医学書院 看護のアジェンダ 医学書院週刊医学界新聞 連載中 他多数 〈表彰〉 2009 年 日本看護科学学会 学術論文優秀賞 受賞 「Predictors of pressure ulcer and physical restraint prevalence in Japanese acute care units」 〈主な研究活動〉 ・看護業務の効率化に関する調査研究 平成 30 年度厚生労働省 看護職員確保対策特別事業 ・看護師等の研究企画・分析能力の向上に資する統計学的手法の修得に関する研究 平成 29 年度厚生労働統計協会調査委託事業 ・看護師養成所 2 年課程（通信制）における臨地実習のあり方に関する調査 平成 28 年度厚生労働省看護職員確保対策特別事業

- ・ 准看護師養成所における教育に関する調査 平成 28 年度厚生労働省看護職員確保対策特別事業
- ・ 看護師 2 年課程（通信制）への進学者の就業年限と就業内容に応じた教育内容に関する研究 平成 27 年度厚生労働科学研究費補助金特別事業
- ・ 社会保障と税の一体改革に向けた新たな看護職員確保対策に関する研究 平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業
- ・ わが国の病院に勤務する看護師の交代制勤務のあり方に関する研究 平成 22～24 年度科学研究費補助金（基盤研究（B））
- ・ サービスマネジメントをフレームワークとした看護管理学の体系化に関する調査研究 平成 19～21 年度科学研究費補助金事業（基盤研究（B））
- ・ 医療機関における看護サービスの提供と質の保証のためのデータベース開発に関する研究 平成 16～18 年度科学研究費補助金（基盤研究（B））
- ・ 医療安全確保のための看護人員体制とアウトカム指標の検証 平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業

他

〈主な社会活動〉

- ・ 厚生労働省社会保障審議会医療分科会 臨時委員
- ・ 東京都中央区介護認定審査会 会長
- ・ 日本看護協会「看護業務の効率化・生産性向上のための支援策検討委員会」委員
- ・ 日本医療安全調査機構「医療事故調査・支援センター」センター調査個別調査部会 部会員
- ・ 新潟県立看護大学 専門性の高い看護職員の育成検討会 委員
- ・ 特定医療法人新生病院 理事
- ・ 卒後臨床評価機構 監事
- ・ 聖路加国際病院臨床倫理委員会 委員

他

メッセージ

2019 年 4 月、広々とした田園の一角に新しく完成した校舎で、看護学部看護学科が開講いたしました。看護学部は、「豊かな人間性と広い見識を持って、地域住民の健康生活をサポートすることのできるケア提供者を育成する」ことを目的として、「看護の専門分野において、幅広い知識・技術・応用力を体系的に培う教育研究を行い、地域の多様なニーズに対応できる質の高い探求心を持つ看護師・保健師を育成いたします」（学則第 5 条）。

古代ローマに「クーラの神話」があります。ある日、女神のクーラが川辺で粘土を見つけ、これを捏ねて人間を形づくる。そこに通りかかったジュピターが魂を吹き込んで人間が誕生したということです。クーラは、気がかりや心配、他者に幸福を与えること、献身、配慮という意味をもつラテン語であり、英語の「ケア」の語源です。このクーラがナースと二重写しになるということです。つまり、「人間はケアから逃れられない」のであり、「ケアしている」者は、同時に相手から「ケアされている」という現実を認識するとともに、関係性そのものがケアを意味することになるのです。

看護学を学ぶことは、ケアの本質を探究することであり、看護師・保健師として、ケアのカタチを示すことにつながります。さあ、この壮大な知の探検に出発いたしましょう。

E-mail

Ibe.tohiko@shitoku.ac.jp